

平成 27 (2015) 年度

事業報告書

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

公益財団法人九州盲導犬協会

福岡県糸島市東 7 0 2 番地 1

盲導犬育成事業<公益目的事業1>

1. 視覚障害者に対する盲導犬の無償貸与と生活訓練等の実施について

(1) 盲導犬貸与頭数

①平成27年度は、盲導犬希望者に5頭の盲導犬を無償貸与した。

- ・代替3頭（福岡県2、広島県1）
- ・新規2頭（福岡県1、長崎県1）

②盲導犬貸与数

- ・貸与頭数累計227頭（タンデムを含む貸与者数235名）
- ・平成28年3月末現在の実働盲導犬45頭（盲導犬使用者46名）

(2) 公正な盲導犬貸与

盲導犬貸与規程ならびに盲導犬貸与審査に関する規定に基づき、公正な盲導犬貸与を目的に盲導犬審査会を5回開催、盲導犬貸与申込者の選定および共同訓練等に関する審査を実施した。

(3) 盲導犬使用者に対するフォローアップ

①貸与後1年以内のフォローアップを充実させるとともに、盲導犬使用者が安全な歩行及び生活が継続できるようフォローアップの充実を図った。

フォローアップ実施件数は69件であった。

②全国盲導犬使用者の会全国大会 in 三重(6月)、九州盲導犬友の会の総会(7月)、沖縄研修旅行(2月)等に参加して、その活動を支援した。

2. 犬の飼育および訓練について

(1) 候補犬の訓練について

犬の稟性・健康評価と並行して期中38頭の候補犬の訓練を実施した。

(2) 繁殖について

①期中子犬25頭(当協会出産子犬24頭-他協会譲渡子犬2頭+他協会譲受子犬3頭)を確保した。

②平成28年3月末の繁殖犬数は20頭(雄10頭、雌10頭)である。

③繁殖犬飼育委託家庭13件に対し、定期訪問44回を実施した。

④AGBN加盟協会との繁殖協力の維持・発展に努めた。

(3) パピーウォーキングについて

①期中延べ25頭の子犬を飼育委託した。

②期中飼育講習会17回、飼育家庭訪問回数81回を行い、飼育指導に力を注いだ。

(4) 盲導犬の引退について

期中引退頭数5頭、期末の飼育委託頭数は37頭である。

(5) 犬舎管理について

管理頭数はピーク時40頭を数えたが犬舎の衛生管理及び犬の健康管理に努めた。

3. 訓練グループ職員のレベルアップについて

- (1) OJTにより業務に必要な知識・技術を習得させるとともに、更なるレベルアップを図った。
- (2) 平成28年2月神奈川県で開催された全国盲導犬施設連合会主催の盲導犬育成ジャパンセミナーに職員4名を研修派遣、技術及び知識の向上を図った。
- (3) 全国盲導犬施設連合会の盲導犬訓練士資格審査に2名が訓練士に合格した。

4. 関係団体への協力等について

- (1) 日本社会福祉協議会、全国盲導犬施設連合会、県市社会福祉協議会等の関係団体が実施した福祉事業に協力し、福祉の向上に努めた。
- (2) 盲導犬医療特別措置について、福岡県をはじめ各県獣医師会及び動物病院各位の支援をいただき、盲導犬医療特別措置（混合ワクチン接種など）を継続実施することが出来た。
- (3) ボランティア・獣医師各位の協力を得て、繁殖犬・パピー犬・リタイア犬等の飼育及び健康管理に対応した。

普及啓発事業＜公益目的事業2＞

1. 視覚障害者に対する普及啓発活動

福岡市「障がい者週間記念の集い」や福岡視力障害センター「視覚障害者福祉フェスティバル」及び糸島市市民まつり等にて、盲導犬体験歩行・デモンストレーションを実施して盲導犬の普及啓発に努めた。

2. 盲導犬普及啓発街頭活動について

- (1) 盲導犬使用者、ボランティア、各地区ライオンズクラブ、西日本高速道路サービス様など多くの方々の協力を頂き、大野城市総合福祉まつり他各地の動物愛護祭のイベントに参加して、盲導犬を中心とした補助犬の受入れの理解と普及啓発に努めた。
- (2) RKB毎日放送株式会社並びに福岡県内715郵便局様の協力による「RKBラジオ盲導犬募金」キャンペーンは、今年で12回目を迎えることが出来た。毎年10月開催のRKBラジオまつり特設ステージでは、盲導犬訓練デモンストレーション・身体障害者補助犬法を広報して補助犬の普及啓発を図ることが出来た。また、各郵便局の窓口に設置いただいている募金箱、郵便局巡回のスナッピー号による盲導犬募金キャンペーンに、多くの皆様から盲導犬募金（計4,208,961円）の協力をいただいた。

3. 実演・講演・体験歩行会の実施

小中学校の視覚障害者福祉学習に講師を派遣して、講演及び盲導犬体験歩行を実施し（実施回数41回）、盲導犬を主体とした補助犬の普及啓発に努めた。

4. 総合訓練センター見学会について

- (1) 啓発ボランティアの協力等を得て、一般見学会を毎月1回(12月除く)開催し、年間延べ385名の見学者が来所した。
- (2) 一般見学会とは別に、49団体1,155名に対する団体見学会を実施した。その他のセンター来所者と合わせ約3,000名に施設の紹介及び盲導犬の普及啓発を行うことが出来た。

5. ホームページ及び協会報による広報活動について

- (1) ホームページを使って、タイムリーな情報の発信に努めた。
- (2) 協会報「ハーネス九州」を福岡県共同募金会からの配分金80万円をもとに、年2回(2月、8月)計18,000部発行し、盲導犬使用者及び盲導犬受入れへの理解や身体障害者補助犬法等に関する情報提供に努めた。

6. 相談業務について

盲導犬貸与希望、盲導犬使用上の苦情、盲導犬受入れ拒否、盲導犬受入れ事業者からの相談、ボランティアの申出など計22件の苦情や相談に対応した。

管 理 部 門

1. 理事会・評議員会を適時に開催して健全な協会運営に努めた。

- (1) 理事会を次のとおり、4回開催した。

| 開催年月日 | 主な決議事項 |
|------------|---|
| 平成27年5月18日 | ・平成26年度事業報告及び財務諸表について ・定時評議員会の開催について |
| 平成27年9月16日 | ・平成28年度職員採用について |
| 平成27年12月2日 | ・寄付金管理システムの更新について ・就業規則の一部改正について |
| 平成28年3月10日 | ・平成28年度事業計画及び収支予算について ・評議員会の開催について |

- (2) 評議員会を次のとおり、2回開催した。

| 開催年月日 | 主な決議事項 |
|------------|---------------------------------------|
| 平成27年6月4日 | ・平成26年度事業報告及び財務諸表承認について ・理事の選任について |
| 平成28年3月22日 | ・平成28年度事業計画及び収支予算について |

2. 事務局の移転について

平成 27 年 6 月、事務局（福岡市中央区）を総合訓練センター（福岡県糸島市）に移転統合し、業務の効率化を推進した。

3. 賛助会員について

今期末の会員数は 579 件（前期比 68 件増）である。

4. 募金箱・盲導犬自販機について

- (1) 募金箱設置先は、福岡県内郵便局各局の協力等により平成 28 年 3 月末 1,950 件（前期比 48 件増）である。
- (2) 盲導犬自販機の設置先は、平成 28 年 3 月末 93 箇所（前期比 1 箇所減）である。

5. 職員に関する事項について

職員在籍状況

平成 28 年 3 月 31 日現在

| 部 署 | 職 種 | 正 職 員 | 短時間勤務者 |
|---------------------------|-----------|--------------|-------------|
| 管理部門 | 管 理 ・ 事 務 | ※3 名 | |
| 事業部門 (盲導犬育成) (普及啓発) | 盲導犬歩行指導員 | 3 名 | |
| | 盲導犬訓練士 | 2 名 | |
| | 研 修 生 | 3 名 | |
| | ケネルスタッフ他 | | 5 名 |
| 計 | | 11 名 (前期比 0) | 5 名 (前期比 0) |

※3 名（常勤理事 1 名を含む）

6. 施設について

- (1) 施設（総合訓練センター）の場所；福岡県糸島市東 702 番地 1
- (2) 敷地面積；4,133.39 m²
- (3) 建物
 - ・管理棟（主な建物）
（構造等）鉄筋コンクリート造 3 階建て 1,479.11 m²
（主な設備）事務室、食堂、厨房、男女浴室、共同訓練生宿泊室（6 室）
多目的ホール、犬用医務室、相談室、会議室、
 - ・犬舎棟
（構造等）鉄筋コンクリート造 平屋建て 574.25 m²
（主な設備）繁殖犬舎、第 1 犬舎、第 2 犬舎、犬具・フード倉庫、シャワー室
- (4) 太陽光発電設備；太陽電池出力 48 k w

事業報告の附属明細書

特に記載すべき事項はありません。